

## さち茂人の市議生活2期目も4年目を迎えることになります！！

皆様におかれましては、佐地茂人の議員活動にご理解を頂き、誠にありがとうございます。国では数多くの直面する課題が次々とあらわになりますが、私は市民に一番身近な市議会議員として間違えることなく、活動していこうと心がけているところであります。

### ところで、平成20年度当初予算が決まりました。

静岡市のお金は一般会計2789億円です。今回の予算では、「新しいまち」を合言葉に、①働く場所の提供を考えた「企業立地の促進」②地域が学校を応援し、子供を見守る体制整備である「学校応援団」③3つの都市核（静岡・清水・東静岡）である「まちの拠点整備」④安心・安全・快適な環境の整備として「災害に強いまちづくり」という4つの重要施策を柱としました。具体的には、静岡駅前の27階建て再開発ビル内の市立美術館、清水駅前の市民文化会館、また、新交通システム（路面電車）への路線調査などであります。静岡駅北口広場も夏にはオープンし、駅周辺が様変わりしていく姿を数年後には見ることが出来るのではないかと思います。・・・なぜ、中心市街地に設備投資をするのか、というと、人口減少時代の中、商業のまち静岡の顔である真ん中に人が集まらなければ、静岡市自体が衰退してしまいます。（コンパクトシティに近いかな？）一方、静岡市の自然豊かな中山間地域を持続させていくべく、対策室を新設し、中山間地域振興に本格的に取り組んでいきます。・・・これはすごく大事なことです。

### お金を使いすぎて「静岡は大丈夫か？」ということについて

今回の静岡市の予算は、積極的ではありますが、心配する点もあります。それは、市の借金です。市の借金は平成18年度末で約3300億円、平成19年度は市債が約407億円で今回の20年度は約466億円。（すべてではありませんが、19年度、20年度とも借金を返します）見込みですが、平成20年が終わるときには、市の借金は3609億円になります。また、実質公債費比率（借金の返済が全体のどのくらいの割合を占めているかと思ってください）が18%を超えたときには、「地方債許可団体」として国に借金を返す計画書を提出し、借金することを許してもらわなければなりません。この実質公債費比率が35%を超えると、夕張市ようになります。静岡市は数年でこの18%を超えてしまいます。そこで、私は幾度と話していますが、減らす予算について考えなければなりません。（今も取り組んでいますが）無駄だと思ふものや今必要ないだろうと思う予算をもっと無くして行かなければならないと思うのです。これについては市民の皆さんの意識と理解が必要です。

### 「市民の生活はどうなるのか？」といえど・・・

暗くなればかりはいられません。市民の皆さんや後援会の皆さんからは身近なことで、生活の中での不満な話も多く頂きます。今回の予算では、国民健康保険料の改定については最近には稀な料金の引き下げを行いました。医療分は所得割率7.7%から7.4%に引き下げ、均等割率では28,800円から28,200円に、平等割率（世帯割）では24,600円から24,000円に引き下げました。また、介護保険の40歳から64歳までの第2被保険者の介護分は所得割率1.9%から1.3%に、均等割率は13,500円から11,400円に引き下げました。上限付加限度額（収入が多いとされる人）からはその分年間6万円の保険料を上乗せして頂くことになりました。これにより、一人当たりの国保料は年間111,231円から104,430円に下がり、年間200万円の世帯（3人）では21,600円の引き下げとなりました。これは収入が少ない家庭に配慮したものです。また、水道料金では旧静岡市内で平均改定率7.67%の引き下げを行います。平均一般家庭（4人）で生活し、20㎡～30㎡の一ヶ月の水使用では、3,916円から3,643円に273円の値下げになります。

### さち茂人はH20年度の予算にどうかかわったのか？というど・・・

私、さち茂人は今年度予算では地元の要望はもとより、厚生委員会の委員長ということもあり、児童クラブの設置については3カ年計画後の設置（一学校一クラブ）を要望し、老人クラブの活動については身近な地域活動を支援するために、単位老人クラブ補助金の10%アップ（約300万円）を実現しました。また、長年の懸案事項であった、駿河区八幡地区の日出町高松線（八幡の通り）の都市計画道路事業化に向けた調査が実施されることになりました。



## 平成十九年度議会活動では、

一年間をとおし、休むことなく「総括質問」を行いました。政策通になれる様に市の様々な問題に積極的に取り組んで参りました。質問の総時間は一一五分で、駿河区選出議員では一番質問をした議員であります。(多分、市議会議員全体でも一番長い質問時間です)

具体的な内容は

### 六月定例会総括質問

- 二. 入札について
- ① 一般競争入札について ② 総合評価方式について
- 二. 静岡市立の三高校の将来的在り方について
- ① 高校の現状について ② 新しい時代をひらく高等学校の在り方

### 九月定例会総括質問

- 一. 地球温暖化対策について ① 地域推進計画
- 二. 良好な住環境について ① 「高度地区」の制定について

### 十一月定例会総括質問

- 一. 中心市街地のまちづくりについて 「新幹線静岡駅停車本数増加推進」
- ① 全国学力・学習状況調査
- 二. 小中学校の学力について

### 二月定例会総括質問

- 一. 東静岡駅周辺整備について
- 二. 庵原地区消防組合の解散について

今後も、出来る限り議員としての能力を高めるために質問をバンバンしていきたいと思えます。質問はFMラジオで流していますので機会があったら聞いてみてください。また、静岡市のホームページからいつでもご覧いただけます。



## さち茂人 市政報告会が開催されました

平成 19 年 11 月 29 日、さち茂人市政報告会がベルアーージュにて盛大に開催されました。

多くの後援会皆様のお力添えを頂き、総勢 500 名近くの参加者が集い、真面目な話で「今後の静岡市の進む道について」話しました。

第 2 部では、9 月議会の質問シーンを映像で発信し、皆様からは「見慣れない姿のさち君を見るほうが恥ずかしい」と囁かれました。また、議員になってから始めて、活動報告として取りまとめました、さち茂人の質問文集「青雲の志」を今回発行しました。参加者にはお帰り際に持ち帰っていただきました。在庫に限りはありますが、まだありますので、ご希望の方はご連絡ください。郵送します。

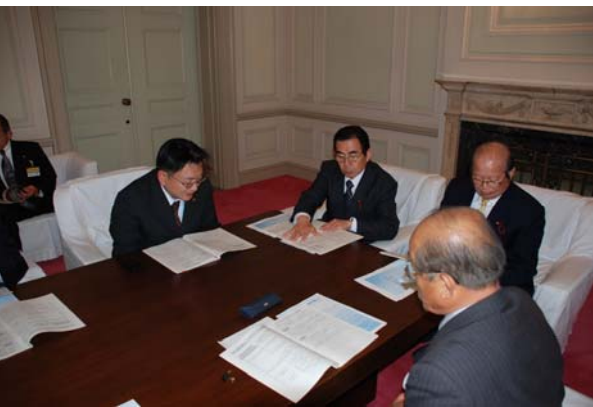


## 静岡市議会が変わる!!

ますます開かれた議会を目指し・・・

「議会基本条例」の制定に向けて

静岡市議会あり方研究会の副座長として、1 年間、結果を出していくためにがんばりました。そもそも、「あり方研究会」とは会派から選抜された新人議員と 2 期生の議員 10 名が議長の要請を受け、更なる議会の活性化のため設置された任意団体であります。議員と市民の考え方にずれ違いが生じないため、市民とのかわり方についてと平成 18 年の地方自治法改正に伴う地方分権による議会の権限強化、また、議会制民主主義による議員同士のルールについてなどを話し合いました。年間 25 回の議論の末、15 件の議会改革提案個別項目を取りまとめ、さらに「静岡市議会基本条例」(素案)を作成しました。しかも、ただ作っただけではなくて 1 年間、約 50 時間もの時間を費やし、かなり議論し作成しました。これにより、静岡市議会初の政策条例の制定を今年までに目指していきます。今年の秋までに制定されれば、議会基本条例は政令指定都市初で県内でも初になります。(多分・・・) この条例が制定されれば、静岡市議会もさらに市民に信頼がおける議会になると確信しています。



### 編集後記

記事の冒頭にも書かせていただきましたが、佐地君も 2 期目の最後の年を迎える事となります。1 期目からの通算では何と 10 年目と節目の年を迎えます。新米議員と言っていた頃もありましたが、今では議員の中でも中堅どころとして、これからは更に静岡市の為に頑張っていくだろうと思います。来年の今頃は 3 期目に向けてバタバタと活動している事だと思います、我々後援会も来年に向けて士気を高めて行きますので、今後とも応援をよろしくお願いします。

平成 20 年 4 月吉日発行

発行責任者 林 稔久 編集担当 上條、小泉、島村、田中